

社会教育クローズアップ

十勝教育研修センター講座「学校に地域の力を活かすために」

十勝教育局社会教育指導班は、8月8日（火）十勝教育研修センター講座「学校に地域の力を活かすために（CS）」の講師を務め、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進によるPDCAサイクルの確立について、今求められる熟議の姿の理解、実際に熟議を進行するために必要なスキルを身に付けることを目的とした研修を実施しました。管内の教職員や地域学校協働活動推進員25名が参加し、社会教育指導班が教育委員会訪問や学校訪問で聞き取ったコミュニティ・スクールの現状を踏まえ、以下の6つのポイントを紹介しました。

研修の流れ

説明：コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けて

説明：モデルケースの紹介

事例検討：学校運営協議会の改善

演習：熟議体験の準備
熟議体験

説明：持続可能な体制構築に向けて

【PDCAサイクルの確立に向けた6つのポイント】

- ① 学校運営協議会の進め方
- ② 学校運営協議会委員の当事者意識
- ③ 役割分担
- ④ 教育課程への位置付け
- ⑤ 地域人材の活用
- ⑥ 熟議のテーマ

帯広市における具体的な実践例を裏面に記載しました。御覧ください。

午後の熟議体験では、熟議のテーマ設定、熟議の運営までを参加者が行い、各学校で実践する際の参考となるようにしました。

参加者からは、「コミュニティ・スクールにおけるPDCAサイクルの充実に向けたポイントなど参考になるものが多かった」「熟議体験があることで、深い内容まで話し合うことができた」などの声が寄せられました。



熱心に行われた事例検討



参加者から出された多くのアイデア



熟議の結果を共有する様子

研修の最後にCSポートフォリオの活用を紹介しました。学校運営協議会の現状を可視化し、改善していくためにぜひ御活用ください。右のQRコードを読み取り、手続きをしていただくと標準版、詳細版が手に入ります。十勝教育局独自で作成した簡易版（学校運営協議会委員対象）もありますので、御希望の方はメールで御連絡ください。



参考：CSポートフォリオ

【発行・お問合せ先】

北海道教育庁十勝教育局

北海道教育庁十勝教育局教育支援課社会教育指導班（田尾・皆川）
住所：〒080-8588 帯広市東3条南3丁目
電話：(0155) 26-9243（直通） 平日 8:45～17:30
E-mail：minagawa.keita@pref.hokkaido.lg.jp

帯広市教育委員会主催のコミュニティ・スクール研修会へ取材に伺いました

8月23日（水）に開催された帯広市教育委員会主催「令和5年度第1回コミュニティ・スクール研修会」が実施されました。帯広市学校支援アドバイザー 保前 明美 氏が、「緑丘小学校のコミュニティ・スクールについて～地域の子どもの笑顔をつくるために何ができるだろう？～」と題し、事例発表をされました。保前氏に、十勝教育局が示したPDCAサイクルの確立に向けた6つのポイントについて、具体的な実践例を聞きました。



①学校運営協議会の進め方

保前氏の実践

**恐れずに進んで
コミュニケーションを
とるようにしています！**



コロナ禍で活動が止まってしまうような際、学校に対して「地域の人が学校のために何かをしたいと言っている」ことを伝えた保前さん。学校からは「清掃活動を手伝ってほしい」と伝えられ、運営協議会内で熟議を実施。その後、令和2年10月に学校中を清掃する「クリーン作戦」が実施されました。

②学校運営協議会の当事者意識

保前氏の実践

**子どものために行動すると
満足感が得られ、結果として
当事者意識も高まります！**



各活動に参加したボランティアの方が「子どもの笑顔を見られて元気が出た」と満足することで、運営協議会委員も「自分たちで企画して良かった。」と自分ごとにつながる、と保前さんは話してくださりました。

③役割分担

帯広市立緑丘小学校の実践

**子どもが地域とつながる
活動を目指しています！**



緑丘小学校コミュニティ・スクール協議会は、放課後子ども広場、生涯学習推進委員会、青連協、交連協など地域の団体、校区の保育園や児童保育センター、PTAといった教育関係団体の代表者で構成されています。保前氏を中心に、まずは夏祭りなどの校外活動を活性化し、子どもが元気に、子どもが地域とつながる活動を目指しています、と校長先生は話してくださりました。

④教育課程への位置付け

帯広市立緑丘小学校の実践

**ビジョンを持って
前向きに取り組んでいます！**



緑丘小学校の課題である「人間関係調整力」「学力」「規範意識」「あいさつ」といった課題を解決するために、委員は学校外の活動で意識しながら子どもたちと関わるようにしています。今後は家庭科におけるミシン作業の補助や、書写の講師など、学校の授業で地域の方に関わってもらえるよう、その場面や方法について調整していく予定です。

⑤地域人材の活用

保前氏の実践

**横とのつながりも
大切にしています！**



今年の8月4日（金）にPTAイベント部主催の夏祭りが実施されました。夏祭り実行委員会に、PTA担当はもちろん、地区生涯学習推進委員会や地区老人クラブ、帯広第五中ボランティア部なども出席し、横のつながりができました。普段から顔を見せ合い、つながっておくことが、次の活動につながると保前さんは伝えてくれました。

⑥熟議のテーマ

帯広市立緑丘小学校の実践

**目指す子ども像の共有をし、
熟議をしています！**



目指す子ども像を具現化するため、まず運営協議会委員それぞれの立場から見た児童の様子について交流しました。また、今後の学校生活や行事のイメージを学校側から伝え、「コミュニティ・スクールができること」について熟議しました。緑丘小学校今年度の重点「人がつながる緑丘小学校」のために課外活動にも積極的に参画しているという声が多く聞かれました。

6つのポイントを意識し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動が一体となるPDCAサイクルの確立が進むために社会教育指導班としてサポートさせていただきます。